

(様式2) 新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等		—		
事業毎の通番		市町村名		箇所名(ふりがな)		松南(まつなみ)		
事業概要	事業目的	当該地は直上に松南団地、直下に一級河川桶沢川に挟まれた山腹で、H26年4月融雪災により山腹が拡大崩壊した。山腹がさらに崩壊すると直上の住宅3戸、工場1棟に被害が及ぶ恐れがあり、土砂が河川へ流入する恐れもある。当該地100m下流山腹においてH20～H21復旧治山事業で法枠工(鉄筋挿入工併用)を施工している。当該地においても同種工法の法枠工(鉄筋挿入工併用)を施工することにより、県民生活の安全・安心の確保を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上(災害に強い森林づくり)		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等	なし						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家3戸、工場1棟、村道5m、一級河川桶沢川						
	着手年度	平成27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	1.32	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	山腹工0.25ha 法枠工2,500㎡(鉄筋挿入工併用)			227,000	124,850	91,935	10,215	
年度事業内容(主な工種)	山腹工0.05ha 法枠工480㎡(鉄筋挿入工併用)			20,000	11,000	8,100	900	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家3戸、工場1棟、村道5m、一級河川桶沢川の保全						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	○人家戸数:	4戸	住宅3戸、工場1棟	評価	B		
		○公共施設数:	なし					
	重要性	○災害時要援護者関連施設の有無:	なし		評価	A		
		○保安林・林業用施設:	保安林100%					
		○過去の災害履歴:	有	H26.4月融雪災				
	効率性	○交通遮断による地域経済への影響:	なし		評価	B		
○地域防災計画上の位置付け:		有	急傾斜地崩壊危険箇所(イエローゾーン)					
○費用便益比(B/C):		1.32						
緊急性	○事業期間:	3年	H27～H29	評価	A			
	○工法等の比較検討:	有	下流既設箇所等で検討(H20～21復旧治山事業)					
	○流域の総合調整:	なし(治山事業のみ)						
計画熟度	○流域の地形、地質:	第3紀層		評価	B			
	○平均溪床勾配(平均山腹勾配):	57度	平均山腹勾配57度					
	○下流の堰堤等の整備状況:	なし						
	○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域:	A						
部意見	○事業情報の共有:	関係者中心に周知(村役場、松南団地区長)				評価結果	総合評価	
	○地域の取り組み:	村役場、松南団地区長から事業計画に対して要望あり						
	○地域の合意形成:	事業目的について合意形成が図られている						
	○住民との協働:	維持管理について住民協働を計画						
行政改革課意見	重要性、緊急性が認められる。		○	A				

事業概要説明図表






位置図

平面図

既設H20～21法枠工(鉄筋挿入工併用)

計画箇所

一級河川桶沢川

山腹崩壊

住宅

山腹崩壊地全景

施工前

施工後

H20～21復旧治山事業 法枠工A=1,250㎡(鉄筋挿入工併用)

※当該地においても既設と同種工法の法枠工(鉄筋挿入工併用)により、山腹の安定を図りたい。

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地100m下流において、H20年度～H21年度復旧治山事業により法枠工A=1,250㎡(鉄筋挿入工併用)を施工した。当該地においても既設山腹と同様の地質であり、山腹崩壊の状況が類似していることから、既設と同種工法の工事を行うことが必要と思われる。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H26年4月に松南団地区長より高山村役場に要望があり、同月に村役場担当者と現地調査を実施。
③事業説明等の経緯	今後詳細な現地踏査を実施した後、工事内容について地元説明会を開催する予定。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	
⑥地域活性化への影響と配慮	団地の定住維持。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 40'

東経:E 138° 22'